

## 授業改善等に関する報告書（2019年度前期）

## 授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2019（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
基礎栄養学	中村 彰男	基礎栄養学はみなさんが健康に暮らしていくためにも非常に重要な学問です。この講義を通じて普段の生活のなかでいかに健康に関する情報にウソが多いかもわかったと思います。試験の成績はととも良かったです。覚えることに固執せずに理解し考える事に重きを置いて、これからの大学での学びを楽しんでください。
ライフステージ栄養学 b	於保 祐子	ライフステージごとのヒトの生理的变化について理解し、それぞれのステージで特に注意すべき栄養学的なポイントを整理して、今後の実際の献立作成や栄養カウンセリングに役立ててほしいと思います。特にライフステージ栄養学b では、生活習慣病、高齢期の変化の理解とそれらへの対応が大事です。
基礎栄養学	中村 彰男	基礎栄養学はみなさんが健康に暮らしていくためにも非常に重要な学問です。この講義を通じて普段の生活のなかでいかに健康に関する情報にウソが多いかもわかったと思います。試験の成績はととも良かったです。覚えることに固執せずに理解し考える事に重きを置いて、これからの大学での学びを楽しんでください。
給食経営管理 b	山岸 博美	パワーポイントの文字が小さくて見づらいという意見があり、迷惑をかけてしまったので今後は、文字数をはじめ、わかりやすい教材開発に努めてまいります。
ライフステージ栄養学 b	於保 祐子	ライフステージごとのヒトの生理的变化について理解し、それぞれのステージで特に注意すべき栄養学的なポイントを整理して、今後の実際の献立作成や栄養カウンセリングに役立ててほしいと思います。特にライフステージ栄養学b では、生活習慣病、高齢期の変化の理解とそれらへの対応が大事です。
公衆衛生学 a	佐々木 溪円	15回の授業、お疲れさまでした。2年生は学内の実験・実習レポートが多く、予習復習の時間をとりにくいと思います。関連科目の公衆栄養学などを受講する機会に、公衆衛生学の教科書や配布プリントを見直してください。配布プリントで引用する機会が多かった図は、「公衆衛生がみえる」という書籍に掲載されています。視覚で覚えるタイプの人には、合っていると思います。
臨床栄養学 a	松島 照彦	宿題はためになったようで良かったです。多くて大変だったかも知れませんが、2単位の授業では3時間以上事前事後学修する必要がありますので、そのつもりで頑張ってください。スライド送りは十分にゆっくりしていますが、タイミングにはさらに配慮します。最初に全部穴を空けてしまうと、先生の話が聴かなくなってしまうので、聴いた後に生めて貰うようにしています。試験の問題数は減らして、記述に時間を掛けられるように配慮します。
公衆衛生学 a	佐々木 溪円	15回の授業、お疲れさまでした。2年生は学内の実験・実習レポートが多く、予習復習の時間をとりにくいと思います。関連科目の公衆栄養学などを受講する機会に、公衆衛生学の教科書や配布プリントを見直してください。配布プリントで引用する機会が多かった図は、「公衆衛生がみえる」という書籍に掲載されています。視覚で覚えるタイプの人には、合っていると思います。
臨床栄養学 a	松島 照彦	宿題はためになったようで良かったです。多くて大変だったかも知れませんが、2単位の授業では3時間以上事前事後学修する必要がありますので、そのつもりで頑張ってください。スライド送りは十分にゆっくりしていますが、タイミングにはさらに配慮します。最初に全部の穴を空けてしまうと、穴埋めに一生懸命になって、先生の話が聴かなくなってしまうので、聴いた後に埋めて貰うようにしています。試験の問題数は減らして、記述に時間を掛けられるように配慮します。
栄養生理学	奈良 典子	今後の参考にさせていただきます
臨床栄養管理総論	高橋 加代子	授業で理解する内容が多く、進むスピードが早くなっていたと思います。限られた時間で説明するため、スライドの文字が多く見にくくなっていました。この点は改善する必要がある、今後の授業に反映したいと思います。
食品機能論	松岡 康浩	回答数が少ないためなんとも言えませんが、いまやトクホなど機能性食品は身近ですので、生理学や栄養学に関連付けて勉強してください。
栄養生理学	奈良 典子	今後の参考にさせていただきます

[2019 (前期) 食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
特別講義 a	於保 祐子 中村 彰男	特別講義aは今年度から前期科目となり、国試対策ばかりでなく、4年間の栄養学・生理学の総復習としての内容でしたので、難しいところも多かったとおもいます。後期の総合演習aの授業につなげてゆければと思います。
微生物学	秋田 修	授業内容と満足度については大変厳しい評価となっています。専門性がやや高い講義であるので、高校で生物をしっかり学んでこなかった学生にとっては難しかったと思います。ただ、APには生物基礎の知識が必要と明記しています。生物基礎の学力が低いレベルの学生に合わせて講義はできませんができるだけ平易な説明でわかりやすい講義構成にするようにしているつもりです。自由記述で、微生物に対して興味を持った、理解が深まったとの記載も多くそれなりに授業の目的は達成できたと思います。専門性が高い学問領域ではすべての方が興味を持つということはありませんので1割程度の方が新たに興味を持っていただけたのであれば十分であると考えています。
基礎調理 2	中川 裕子	デモを集中して聴く姿勢やチームワークの良さから、完成度が高い料理を作ることができていました。この分野をさらに学びたいと思った人の割合が高かったので、給食や応用調理の実習で更に深い学びができることを期待します。授業のプリントやレポート様式をもっと早くほしいとの意見があったので、予習時間を確保するためにも改善していきます。
基礎栄養学実習	松島 照彦 中村 彰男	基礎栄養学実習は松島先生と私の二人で担当しました。基礎栄養学や生化学で学んだ事を実際に実習を通じて確認できたと思います。また、座学とは違い、実験を行うことで観察力・洞察力そしてまとめる力を身につけられたのではないかと思います。これからも頑張ってください。中村彰男
食品衛生学 a	井部 明広	パワーポイントの情報は多くて理解しきれなかったかもしれません。でも、ほとんど教科書にあることです。ぜひ予習をしてきてください。そして教科書にないことは確実にノートしてください。
公衆栄養学 b	森川 希	履修者の学習状況は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対して約90%が「十分に理解できた」「まあまあ理解できた」「ほぼ理解できた」いずれかの回答されていました。授業の内容と方法についてはQ10の「担当教員の声や言葉は、聞き取りやすかったですか?」が比較的低くなっていましたので、今後気を付けていきます。授業の理解度を上げるためには、授業の予習復習も重要になります。週あたりの予習復習時間が「30分未満」または「なし」と回答した人の割合は例年よりやや低く、予習している人が多いという望ましい傾向でした。今年度は次回の授業範囲を示すほかに、課題を出した回がありましたが、最終的に全員が提出できていました。今後も、自習をすすめてほしいよう、このようなこのような機会を増やしていきたいと思います。
解剖生理学 b	於保 祐子	人の体のしくみについて、分子レベル・細胞レベルから全身まで、広い範囲を扱っている講義なので、短時間で説明するのは難しい内容が多い分野です。復習に役立つ資料を工夫しましたが、予習に役立つ教科書の選定等をもう少し考慮すべきだったと思います。
食品衛生学 a	井部 明広	良く話を聞いてくれたと思います。そしてさらにノートをとってほしいと思います。教科書に沿って進めますので、予習をしてきてください。
公衆栄養学 b	森川 希	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。「この授業をどれくらいの割合で理解できましたか」の問いに対しては約90%が「十分に理解できた」「まあまあ理解できた」「ほぼ理解できた」いずれかの回答されていました。今後は「十分に理解できた」と回答できる人を増やすことを目指したいと思います。授業の理解度を上げるためには、授業の予習復習も重要になります。週あたりの予習復習時間が「30分未満」または「なし」が2クラスとも50～60%でした。今年度は次回の授業範囲を示すほかに、課題を出した回がありましたが、最終的に全員が提出できていました。今後も、自習をすすめてほしいよう、このようなこのような機会を増やしていきたいと思います。途中で座席を入れ替えてほしいという要望がありましたので、今後導入することを検討します。
食品学 b	松岡 康浩	食品学は食生活の基礎となるものですので、国家試験までしっかりと復習をしておいてください。質問が生じた場合は聞きに来てください。

[2019（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
生化学 a	中村 彰男	生化学aは基礎科目の中でも難しい科目であったと思います。特に管理栄養士の国家試験でも多くの人が難しいと頭を悩ます午前中の「人体の構造と疾病の成り立ち」の前半部分です。でも、皆さんとてもよく勉強して頂き、試験を受けた人は全員合格しました。しかもその平均点はかなり高得点でした。後期はさらに難しい応用編となる生化学bがスタートします。覚えることではなくシステムを理解することに勤めて下さい。きっと学んだ事は将来に役立つと思います。生化学aで学んだことを復習しながら進めますので後期も一緒に頑張りましょう！
栄養教育各論 a	辛島 順子	「栄養教育各論a」では、管理栄養士が栄養教育や栄養指導を行う際に重要な行動科学理論やカウンセリングについてを中心に学びました。講義のみでは理解が難しい理論もありますので、一部具体的な事例などを交えて解説を行いました。 設問の「この授業を通じて、自身の成長が実感できましたか?」「この科目(系・分野)をさらに専門的に学びたいと思いましたか?」では、どちらも当該区分平均を上回っていたため、皆さんが関心を持っていることがわかりました。今年度のアンケートの自由記述で、「心理学・カウンセリングに関心がある」「行動科学の理論が複数あることを知り、理解が深まった。」等の意見が複数ありました。今後も皆さんが関心を持てる内容をわかりやすく説明できるようにしていきたいと思ひます。 昨年度までは、設問の「板書やパワーポイント、配布資料はわかりやすかったですか?」が当該区分平均を下回っていましたが、授業内のプリントと配布資料の内容や印刷方法を変更したことが、今年度の評価の向上につながったようです。「プリントの文字が読みにくいことがあった」という意見もありましたので、今後も十分注意を払いたひと思ひます。「双方向授業(質問のしやすさ等を含む)等の工夫がされていまひましたか?」については、皆さんの課題に対するフィードバックを充実させる方向で検討していきまひす。 3年次の「栄養教育論実習a」においては、「栄養教育各論a」で学んだ理論を中心に実習を行います。これらの学びを総合して、病院や保健所で実施する臨地実習でさらに理解を深めてください。
臨床栄養学実習 b	松島 照彦 高橋 加代子	学生からの意見を参考に授業に役立てたいと思ひます。 特に資料や口調については、反映したいと思ひます。
調理学特別講義	中川 裕子	当該区分平均とほぼ同じ評価でした。 調理学の復習と国試問題とを組み込んだことで、自分の苦手分野がわかったと思ひますので、今後の国家試験勉強に活かしてほしいと思ひます。 スライドの文字の大きさや色については、今後改善していきまひす。
健康管理論	佐々木 溪円	15回の授業、お疲れさまでした。PowerPointの字が小さい、という意見がありましたので、印刷方法を含めて改善しようと思ひます。復習や予習をしにくい内容だったと思ひますが、他の科目の導入になっていまひますので、関連する科目の予習のときに配付プリントを復習してください。
解剖生理学実験	阿■ 貞三	学生さんは頑張ってついてきてくれました。
臨床栄養管理実習	高橋 加代子	座学の教室が、プロジェクタータイプだったため、授業のスライドが見にくかったと思ひます。最初に事務部の相談しまひましたが、教室変更ができませんでしたので、今後は対応していきたくと思ひます。 資料の文字の大きさ等は修正しまひす。 話すスピードは努力しまひますが、内容は限られた時間でこなさなければいけないので、構成を検討しまひす。
総合演習 d	森川 希 山岸 博美	回答者数がやや少ない結果となっておりますが、履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均的な得点でした。 総合演習の目的は国家試験合格に限ったものではありませんが、様々なアプローチで問題を解くことを介して、各自が苦手分野を見つけ、結果的に得点が上げられるような工夫を今後も検討していきまひす。(森川)  パワーポイントの文字が小さくて見づらかったという意見があり、学生に迷惑をかけてしまひましたので、文字の大きさはもとより、わかりやすい教材開発に努めてまいりまひす。(山岸)
健康管理論	佐々木 溪円	15回の授業、お疲れさまでした。PowerPointの字が小さい、という意見がありましたので、印刷方法を含めて改善しようと思ひます。復習や予習をしにくい内容だったと思ひますが、他の科目の導入になっていまひますので、関連する科目の予習のときに配付プリントを復習してください。

[2019（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
総合演習 c	於保 祐子 山岸 博美	<p>応用栄養学の範囲も含め1年生で学んだ人体の構造や生理学などについて、知識をもう一度整理しておく必要があると考えました。そういう意味で、総合演習cの範囲でない講義内容もあったのですが、総合的に栄養学の基礎から応用を学べる内容にしました。</p> <p>パワーポイントの文字が小さくて見づらいという意見があり、学生に迷惑をかけてしまったので、文字の大きさはもとより、わかりやすい教材開発に努めていきます。（山岸）</p>
基礎化学	山崎 壮	<p>この授業では、食品化学と栄養学の専門科目を理解するための化学的基礎知識の修得をめざし、①高校の「化学基礎」で取り扱う計算問題、②食物や生体成分である有機化合物の構造と生体内機能との関連性を取り上げました。今後食品化学と栄養学の専門科目を学ぼうとする理系志向の学生は、ぜひともこの授業で取りあげた事項を理解してくれることを期待しています。食生活科学科の3専攻に同一内容を講義していますので、3専攻の科目について一緒にコメントします。</p> <p>授業アンケートの結果では、この科目の授業評価に関する各質問項目の評価平均値が、全体平均値と比べて、管理栄養士専攻と健康栄養専攻では全般的にほぼ同じであり、食物科学専攻では全般的に大幅に低かったです。2018年度とほぼ同じ傾向でした。</p> <p>この結果から、と食物科学専攻では「基礎化学」の授業内容を理解できない、あるいは履修意欲を持っていない学生がかなりの人数いると考えられます。食物科学専攻は、この2～3年間は、食物科学専攻の特徴を食ビジネスマネージメント関連の履修にシフトしていることを受験生に宣伝してきたことから、理系志向ではなく、文系（非理系）志向の学生がこれまで以上に多く入学していることを反映しているのではないかと推測されます。</p> <p>以上を踏まえ、と、「基礎化学」が、管理栄養士専攻と健康栄養専攻において選択科目になっていて、食物科学専攻において必修科目になっている現状は、各専攻の履修志向に合っていないと考えます。そこで、2020年度新入生からは、食物科学専攻の「基礎化学」を選択必修科目に変更することになっています。</p> <p>授業アンケートは期末試験終了後に実施したのですが、自由記載の回答を見ると、化学の基礎知識が深まったとか、高校では理解できていなかったことが理解できたとか、履修成果を挙げる意見があったことはよかったです。一方で、教室の後方に座っているために、スクリーンが見えないし、模型を使った説明も見えないし、教師が勝手に自己満足でしゃべっているとの批判があったことは、80名～90名で座席指定制での授業の問題点が浮き彫りになったと考えます。この授業を2クラスに分割して実施することは大学運営上不可能ですが、座席を自由席にするとか、スクリーン投影中心の授業進行を止めるとか、次年度には何らかの改善を図ります。</p> <p>例年の期末試験において、高校の「化学基礎」の例題レベルの化学計算と中学の一次方程式の解法が理解できていれば解けるはずの計算問題を出题しているのですが、今回も得点率が悪かったです。これは、皆さんの学年だけの問題ではないです。本学では、日常生活の中の「算数・数学」の基礎的計算能力が修得できていない学生が一定割合いることが以前から指摘されており、その改善が求められています。その状況がこの科目の期末試験の成績にも如実に表れています。それを踏まえて、今年度初めての試みとして、SPI非言語分野の算数の問題を数回にわたって宿題として課し、解いてもらったのですが、成績に大きな個人差がありました。小中学校レベルの計算問題は、理解できるまでくり返し練習するしかないと考えます。学生にとっちはおもしろくないことではありますが、来年度の算数の練習問題を宿題として課そうと思っています。</p> <p>担当教員 山崎 壮</p>
栄養マネジメント論	高橋 加代子	<p>学生が授業での発言等がしやすい環境作りを心がけたいと思います。資料、話すスピード等、意見を参考に改善を目指したいと思います。</p>
総合演習 b	松島 照彦	<p>症例が勉強になったようで何よりです。後ろに声が通らなかったようで澄みません。来年は性能の良いマイクを借ります。</p> <p>單元ごとに進めないことは先生としても憂慮しています。單元ごとの内容を少し減らせれば良いのかな。</p> <p>試験問題は複雑すぎたようですね。分かりやすくします。国試や現場で役に立ててくれれば、先生としても嬉しいです。</p>
給食マネジメント実習	山岸 博美	<p>後期もよろしくお願いします。この実習が、3年時の校外給食実習につなげていくことができるように、学修内容を考えていきます。</p>
食品加工学 a	秋田 修	<p>総合的な満足度で“どちらかといえばあてはまる”以上が84%であったこと、全体の評価項目で平均レベルとほぼ同程度の評価を得たことから、講義形式としては問題がないと判断しました。講義内容に関連する国試の過去問の出題とmanabaでの解説などが評価されたものと思います。学外実習等で延べ139名の欠席者がおりその補習対策が課題として残りました。</p>

[2019（前期）食生活科学科 管理栄養士専攻] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
公衆栄養学実習 b	佐々木 溪円	臨地実習期間が短いのですが、地域保健に従事する管理栄養士やその他の専門職の姿を実際に見て学ぶ貴重な機会になったものと思います。保健所の先生方からは、積極的に実習に臨んでいるとコメントをいただいています。どの分野に進んでも、実習で得た経験を活かせることを祈念しています。
調理学実験	数野 千恵子	当該科目の評価は概ね全体平均よりも高く、授業の大まかな流れは継続する予定である。 自由記述では、日常の調理や食事について今までとは少し違った見方ができるようになった様子がうかがわれ、日常の食に興味を持ってもらえたことが感じられた。 レポート課題や、実験の結果については、それぞれ次回の授業で、コメントをしたつもりであったが、はっきりわからなかった学生がいたことから、マナバなどを使用してのフィードバックを考えてみるつもりである。
栄養マネジメント実習	森川 希	履修者の学習状況、授業内容・方法等は、管理栄養士専攻専門科目区分内で平均～やや高い得点でした。 アンケート回答者において、「この授業を通して自身の成長が実感できましたか」の問いに対し「とてもよくあてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を併せて約9割であったことは喜ばしく思います。 実習レポートの考察は難しかったと思いますが、管理栄養士として将来必要な思考力を身に付けられるよう、今後も内容を工夫していきます。 今年度は学外実習との重複が多く、十分に授業に参加できない人が発生してしまいました。 提出課題は計算結果と考察を一人ずつチェックし、説明不十分であったと思われる点、今後の学修上重要と考えられる点については全体・個人にフィードバックしてきたつもりでしたが、十分でない部分もあったかもしれません。 実習終了後でも、疑問点がありましたらいつでもお尋ねください。
栄養教育論実習 a	辛島 順子	「栄養教育論実習a」では、2年次前期で学んだ行動科学理論やカウンセリングを実際の栄養教育現場で活用するための実習を行いました。 行動科学理論は講義を中心とした学習では十分な理解をすることが難しい部分もあるようですが、実習の具体的事例を通して、確認できたと思います。 また、グループワークを通してコミュニケーション力や課題解決力の向上につながっていることを期待します。 後期の「栄養教育論実習b」においては、さらに理論の具体的理解が深まるように、栄養教育マネジメントやライフステージ別栄養教育についての実習を行います。
食品加工学実習	秋田 修 阿部 真紀	総合的な満足度で“どちらかといえばあてはまる”以上が100%であったこと、全体の評価項目で平均レベルよりもかなり高い評価を得たことから好評であったと判断しました。非常勤講師との共同開講であったが連携ができていたと思われる。4年次での実習であるためこれまで学んできたことの集大成にもなっていることも評価されたと考える。土曜日の必修授業であることに対する改善希望が多いため次年度からは月曜開講することとした。